



札幌市議会議員 厚別区

こじま ゆみ

第55回自民党札幌支部連合会定期総会・札幌政経セミナー

R8年5月23日（土）、第55回自民党札幌支部連合会定期総会が開催されました。

総会では、党活動の報告や今後の方針について協議が行われるとともに、北海道・札幌を取り巻く課題や将来展望について認識を共有しました。食料安全保障やエネルギー政策、防災・減災対策など、地域の発展と市民生活に直結する課題について改めて認識を深め、その責任の重さを実感する機会となりました。



総会終了後には、「さっぽろ自民党 2026 札幌政経セミナー」が開催され、講師として小泉進次郎防衛大臣をお迎えしました。昨年に続き2年連続のご講演となり、多くの参加者が熱心に耳を傾けました。

講演では、我が国を取り巻く安全保障環境の変化や防衛政策の現状について、分かりやすくお話しいただきました。特に、自衛隊員の皆様が日々の任務や訓練に真摯に取り

組まれていること、ご家族を含めた支えへの感謝について語られたお話が大変印象に残り、国民の安全を守るために尽力されている方々への敬意を新たにしました。

また、ドローンやAIを活用したサイバー攻撃など新たな脅威への対応、防衛力の強化や国際連携の重要性についても理解を深めることができました。

今後も、市民の皆様の声を市政に届けるとともに、札幌のさらなる発展と安全・安心なまちづくりに向けて全力で取り組んでまいります。



1/20 2026 冬季オリンピック日本代表
フォルティウスの皆様、表敬訪問



2/13 厚別ふれあい循環バス調印式



6/3 経済観光委員会で質問

～子どもたちのスポーツ環境と法令遵守の両立を～

市街化調整区域内の市有地にある野球場で、ダグアウトや審判控室などが、必要な手続きを取らずに設置されていた可能性があり、現在、札幌市による調査が進められています。

土地管理のあり方を正すことは当然ですが、これらの施設は少年野球など地域のスポーツ活動を長年支えてきた大切な場所です。特に近年の猛暑を考えると、子どもたちの熱中症対策や安全確保のため、日陰となる休憩スペースやトイレなどの環境整備は絶対に欠かせないものです。

私は市に対し、単に違反状態の解消だけを目的とするのではなく、利用者の安全確保とスポーツ活動の継続に十分配慮しながら対応を進めるよう求めました。あわせて、全庁的な実態把握と再発防止の徹底も要望しています。

子どもたちが安心してスポーツに取り組める環境を守ることは、地域の未来を支える大切な取り組みです。今後も市の対応を注視しながら、安全で利用しやすいスポーツ環境の整備に努めてまいります。安全で利用しやすい環境づくりに努めてまいります。



～地域の声がかたちに！自転車の事故防止対策を実施～

厚別区厚別中央3条4丁目の智徳寺と千歳線高架の間にある路地（写真参照）は、以前から自動車と自転車の出会い頭の事故が多く、地域の方から「危ないからどうかしてほしい」と安全対策のご相談をいただきました。そこで、厚別区土木センターや厚別警察署へ現地確認と対策を要望したところ、速やかに現地調査が行われ、対策が進められました。

この場所は、新さっぽろ方面から「車止め」を通過した先が一方通行となっており、本来、自転車は交差点を左折しなければなりません。しかし、これまでは中央に車止めが1基設置されているだけだったため、自転車が減速せずにすり抜けてそのまま直進するなど、交通ルールが守られていない状況が見受けられました。そこで今回、自転車に乗ったままでは通過しにくいよう、新たに「車止め」を1基追加設置していただきました。これにより、自転車の減速や安全確認が促され、出会い頭の事故防止につながることを期待されます。

地域の皆様から寄せられた「声」が、このような具体的な安全対策の実現につながりました。ご相談をお寄せいただいた皆様に心から感謝申し上げます。これからも一つひとつのご相談に寄り添い、安全・安心なまちづくりに実直に取り組んでまいります。

